

「つたえるはつおん」を使った授業案

<使用動画>

- ・イントネーション「自分の作文のモデル発音を聞いて練習しよう —OJAD スズキくんを使った練習—」
- ・イントネーション「シャドーイングでなめらかに発音しよう」

<所要時間> 30 分程度

<対象学習者／教室設定> 中級～／少人数

<教材／資料>

- ・先生が作った文章や新聞記事、教科書の読解文等

<目標／自他評価項目>

- ・「スズキくん」のモデル発音を聞いて、自分との違いを意識できる。
- ・アクセント記号を見て発音を直せる。
- ・シャドーイング(またはリピート)で自然な速さ、アクセントを身に付けられる。

<授業の流れ>

1. 複合名詞や動詞が含まれている文を一度音読する。(録音すると評価しやすい)
2. 「スズキくん」や「OJAD 単語検索」でアクセントを調べ、書入れ、再度音読する。
3. 「スズキくん」を使用してシャドーイングをする。
4. 最後にモデル音声なしで音読する。
5. 上記、四回の発音を対比し評価する。

<例文>

- ・私は、中国人です。〇〇大学の文学研究科の日本語教育コースに通っています。ビジネス日本語教育について研究しています。
- ・北極圏全域には考古学的遺跡が 18 万か所以上存在し、数千年前にさかのぼる遺跡もある。

考案者: 丁文静・傅贇